
中番外編 トーク中

しら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

中番外編 トーク中

【コード】

N7707X

【作者名】

しら

【あらすじ】

スマブラメンバーと一対一でトーク！

趣旨説明（前書き）

新小説です宜しく願います。

趣旨説明

この小説は私作者であるしらとスマブラメンバーが1対1でトークを繰り返して構成する小説となっています。

スマブラメンバーはマリオ、ルイージ、クッパ、アイスクライマー等のスマブラXのメンバーは勿論ロイ、ミュウツー、ピチユウ等のいわゆるリストラメンバーとされているメンバーも登場させる予定です。

更にリクエストがあれば他のゲーム、アニメ等のキャラも登場させることができる様にします。

しかしこれは番外編なので更新はスマブラ 中の方がメインです。

ご了承ください。

趣旨説明（後書き）

最初のゲストはマリオです。

マリオ編（前書き）

本編スタートです。

マリオ編

パチパチ

しら「始まりました！トーク中！最初のゲストはこの人！」

プシュー

二酸化炭素ガスが出てゲスト登場

しら「今回のゲストはマリオです！」

マリオ「宜しくお願いします！」

しら「では座って！」

マリオ「行きなりため口になったー！」

しら「気をとりなおして今回のゲストはマリオです！」

マリオ「宜しくお願いします！」

しら「まず僕の作品でのマリオ自身の扱いはどう思っ？」

マリオ「基本的な扱いはトップクラスですがひとつだけ不満が有ります。」

しら「それは何？」

マリオ「僕の事悪く書きすぎです！」

しら「といつと？」

マリオ「金でつられるとか、金が絡まないとろくにいかないとかわたしはそんなひどくない！」

しら「あっそうなんだ！」

マリオ「はいそうですね。」

しら「一気に話を変えますが好きな食べ物は何ですか？」

マリオ「きのこ入りカレーライスです。」

しら「成る程では嫌いな食べ物はない？」

マリオ「きのこです。」

しら「えっなんかおかしくないですか？きのこ入りカレーライスは好きなのにきのこが嫌いってしかもピーチ姫を助けるときにきのこ食べますよね？そのときにどうするのですか？」

マリオ「はいあのきのこは美味しいです！」

しら「やっぱりなんかおかしいまあいいや！最後にマリオにとってスマブラメンバーとは？」

マリオ「大切な仲間でありライバルです！」

「しら、わかりました！今回のゲストはマリオでした。」

マリオ編（後書き）

これから質問を募集します。
どしどし送ってください。

ルイージ編(前書き)

今回はルイージです。

ルイージ編

しら「さあ二回目のトーク中！今回のゲストはこの人！」

プシュー

二酸化炭素ガスが出てきた！

しら「今回のゲストはルイージです。」

ルイージ「宜しくお願いします。」

しら「では質問です。ルイージは永遠の2番手といわれていますね？」

ルイージ「うん。」

しら「その事についてどう思う？」

ルイージ「二番手といわれて嬉しいわけではないです！」

しら「そうなんだけど今回も二番手だよ！」

ルイージ「それ狙ったよね？」

しら「勿論さ！」

ルイージ「それはひどいよ！」

しら「続いての質問です」

ルイージ「話変えないでよ！」

しら「自分の兄であるマリオの 中の行動どう思っ？」

ルイージ「ひどいよ！」

しら「どういったところが？」

ルイージ「まず前の逃走中で僕を裏切った事、最近の逃走中でお金につられたこと、攻防中でリタイヤしたこと等あるかな？」

しら「ルイージも攻防中で離脱したよね？」

ルイージ「そうだね！イベントでだけど。」

しら「まあ次の質問いくね！」

ルイージ「うん。」

しら「ルイージ本人の僕の作品での扱いはどう思っ？」

ルイージ「最高にいいよ！」

しら「どんなところが？」

ルイージ「まず皆勤賞僕だけだし！全てで地味に賞金獲得しているから！」

しら「成る程では最後の質問だよ！」

ルイージ「早いな！」

しら「ルイージにとってスマブラメンバーとは何？」

ルイージ「大切な仲間かな？」

しら「ありがとうルイージ」

ルイージ「ありがとうございました。」

しら「以上トーク中ルイージ編でした。」

パチパチパチパチパチ

ルイージ編（後書き）

質問提案宜しくお願いします。

ドンキー編(前書き)

今回はコメディーぽいと思います。

ドンキー編

しら「早くも期待されていないかもしれませんが二回目です！今回のゲストはこの人」

プシユー

やっぱり二酸化炭素ガスが出てきた！

しら「今回はドンキーです！」

ドンキー「ウホウホウホウホ」

しら「不味い何いつているかわからない！」

ドンキー「ウホウホウホウホウホ！」

しら「よし！やめよう！これ今回はトーク中なのにトークにならないしー！」

ドンキー「ウホウホウホウホウホウホ！」

しら「それではまた次回お会いしましょう！」

ドンキー編(後書き)

アドバイスお願いします。

第4回（前書き）

悪役登場です。

第4回

しら「トーク中です。今回のゲストはこの人！」

プシュー

ドスンドスン

偉いおとをたてて来るゲスト。

しら「今回のゲストはクツパさんです。」

クツパ「宜しくなのだ！」

しら「早速質問するよ！」

クツパ「わかったのだ！」

しら「マリオについてどう思っつ？」

クツパ「ライバルなのだ！」

しら「そうなんだ！けど毎回倒されているよね？」

クツパ「そうなのだ！そろそろ勝ちたいのだ！」

しら「そうなんだ！クツパ自身の扱いはどう思っつ？」

クツパ「いいと思うが。」

しら「思つがなんでしよう?」

クツパ「我輩は自首なんてしたくないのだ!しかし最近毎回自首なのだ!」

しら「嫌だったの?それならいつてよ!」

クツパ「今度から気を付けるのだぞ!」

しら「わかりました。クツパは仲間思いということが言われていますが本当?」

クツパ「勿論なのだ!仲間有つての我輩なのだ!」

しら「いいこと言うね!」

クツパ「ありがとうなのだ!」

しら「では最後にクツパにとってスマブラメンバーとは」

クツパ「切っても切れない絆で結ばれている仲間なのだ!」

しら「わかりました!ありがとうクツパ!」

クツパ「我輩こそなのだ!」

第4回（後書き）

感想等待着てます。

第5回（前書き）

五回目です。

第5回

しら「トーク中です。今回のゲストはこの人！」

プシュー

メタナイト「宜しく頼む。」

しら「今回のゲストはメタナイトさんです。」

メタナイト「どーも！」

しら「お願いがあるけどいいかな？」

メタナイト「いいぞ。」

しら「仮面とって！」

メタナイト「それはちょっと」

しら「いいよって言ったじゃないですか！」

メタナイト「分かったよ。」

観客「キヤー」

スポッ

しら「可愛い！」

メタナイト「恥ずかしい！」

しら「最初の質問です。」

メタナイト「わかった。」

しら「中で嬉しかったことは？」

メタナイト「賞金獲得できたこととか、デデデ様に助けてもらったことかな。」

しら「助けてもらったとは？」

メタナイト「逃走中の時に追われていた私にあつたとき一回しか使えない能力をわざわざ使ってくれて助けてくれたことだ。」

しら「そうなんだ！じゃあカービィはどう思う？」

メタナイト「いいライバルだなあ。」

しら「そうなんだ！じゃあスマブラメンバーとはなんですか？」

メタナイト「そりゃ大事な仲間だろ！」

しら「わかった！今回のゲストメタナイトでした！」

メタナイト「ありがとう！」

パチパチ

第5回（後書き）

次は第6回です。

第6回（前書き）

久しぶりの更新です。

第6回

しら「久しぶりのトーク中、今回のゲストはこの人！」

プシュー

しら「今回のゲストはピーチさんです！」

ピーチ「よろしく　どうしたの緊張してない？」

しら「あっわかりますか？」

ピーチ「わかるわ、どうしたの？」

しら「実は僕女性と話すの苦手なんですよ！」

ピーチ「へえそうなんだ男性、女性　を気にせずに普通にしていればいいのよ。」

しら「そうですね！そうします。では早速質問いきます。」

ピーチ「本当にいきなりなのね。」

しら「マリオとルイーダどちらかといえばどちらがタイプですか？」

ピーチ「そんなの決まっているじゃないの。」

しら「そうですね、マリオですよね？」

ピーチ「なにいつているの？ルイージに決まっているじゃないの！」

しら「えっ、エーーーーー！」

ピーチ「驚きすぎよ！もしかして文字稼ぎ？」

しら「いや、違いますかなり驚きました。けどなぜルイージなんですか？」

ピーチ「だってマリオは助けてはくれるけど他にいいところはないけどルイージは仲間思いで、皆を大切にしているし、家事もできるし、中でえらい稼いでいるから財力も半端ない。まさにいいところ尽くして訳。」

しら「なるほど、では次の質問です。スマブラ　中で印象に残ったのはありますか？」

ピーチ「ないわ！」

しら「そうですか？では最後の質問です。ピーチさんさんに取ってスマブラメンバーとは」

ピーチ「ライバルかな？」

しら「分かりました！今回のゲストはピーチさんでした。」

ピーチ「ごきげんよう。」

パチパチ

第6回（後書き）

コメント待っています。

第7回（前書き）

第7回のトーク中です。

第7回

しら「7回目のトーク中今回のゲストはこの人！」

プシュー

ポポ、ナナ「こんにちは！」

しら「今回のゲストはアイスクライマーです。」

ポポ、ナナ「宜しくお願いします。」

しら、「何でペアで出ているの？これ一対一でトークを行うという小説だよ。」

ポポ「アイスクライマーは二人で1人ですから。」

ナナ「そうですね！だから認めてください！」

しら「分かりました。今回は一対二ではなく一対二でトーク中をしましょう。」

ポポ「イエーイ！」

ナナ「ありがとうございます。」

しら「では最初の質問ね。いつ二人はであったの？」

ポポ「合コンで出会って二人とも一目惚れしたの。」

しら「えっ、エーーーーー!!!!!!」

ナナ「嘘はいけないよポポ、同じ大学だったから知り合ったんじゃない?」

しら「えっ、エーーーーー!!!!!!とう言うか君たち何歳だよ!」

ポポ、ナナ「五歳」

しら「じゃあ大学生じゃないよね!幼稚園若しくは小学生だよね?」

ポポ「あれ、ばれた?」

しら「ばれるよ!本当のところはどうなのかな?」

ナナ「実は双子です!」

しら「へエーそうなんだ?双子なんだ　　えっ、エーーーーー
　　ー!ふ、ふ、双子だって!」

ポポ「しらさあさつきから驚きすぎだよ!」

しら「御免、御免じゃ次の質問だよ!スマブラメンバーで一番信頼できるのは誰?」

ポポ「ルイージかな?」

ナナ「私も!」

しら「それは何でかな？」

ポポ「仲間思いだし、何だかんだで色々皆がピンチの時助けしてくれるから！」

ナナ「私も！」

しら「逆にスマブラメンバーで一番信頼できないのは誰？」

ポポ「マリオかな？」

ナナ「同じく！」

しら「何でかな？」

ポポ「弟のルイージを裏切ったり攻防中で裏切ったりしているから！」

ナナ「やはり同じく！」

しら「じゃあ最後の質問あなたに取ってスマブラメンバーとは？」

ポポ「大切な仲間です！」

ナナ「信頼できる仲間です！」

しら「ありがとう、アイスクライマーの二人！」

ポポ、ナナ「ありがとうございました！」

しら「今回のゲストはアイスクライマーでした。次回のゲストはだ
れか？次回をお楽しみに」

第7回（後書き）

感想、評価待っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7707x/>

中番外編 トーク中

2011年11月7日14時00分発行